『私たちは、有明地域の

未来を創っています』

令和7年12月発行

発行:有明海沿岸国道事務所 協力:有明海沿岸道路安全連絡協議会(北部·南部) 荒尾道路 延長 2.2km

熊本208号 大島高架橋下部工

円柱状のコンクリート殻をクレー

ンで荷下ろしし玉掛け解除のため

地上に置いた際、少し転がるそぶ

準備していた輪止めで固定するよ

R7.7.3 ~ R8.2.27

場所打擁壁工施工中

バックホウで土砂積込時に旋回し

たところ、ダンプトラックの横か

ら作業員が出てきてバックホウと

接触しそうになった。 作業半径内立入禁止措置、監視員

重機を搬入する際に、運転手から

電線に当たるよ!と言われ、高さ

を計測したら想定以上に垂れてお

日々状況が変化する現場で、日々

う指導し、転がり防止を図った。

R7.3.3 ~ R8.3.3

4

(P15)工事

①三州建設㈱ ②長郷 空

擁壁工事

①何古田建設 ②早田 いつみ

を設置した。

14 福岡208号 有明海沿岸道路(福岡

地区)改良外工事 R7.5.7~R8.1.30

現場状況写真

現場状況写真

①(株)廣瀬組

りを見せた。

9 熊本208号 大島地区オンランプ

現場状況写真



●●208号 ▲▲地区改良工事 工期 R○.○.○~R○.○.○

現場状況写真

12月号は「現場の安全確保」がテーマ 『Safety-Ⅱ』の考え方を参考に、現場 代理人さんが見聞きした「危険かも!?」 の瞬間を共有し、安全性向上を目指し ゙ます。

> ●●工施工中 ②現場代理人氏名



①受注者名

④ 現場代理人が 見た!聞いた!

ヒヤリハットの瞬間と その時の対応・対策

5 熊本208号 大島地区函渠付替 (その2)工事 R7.1.18 ~ R8.2.27

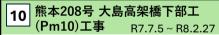


①三州建設(株) ②神田 生樹



熱中症は発症から30分以内の対応 が生存率に大きく影響すると聞い

土留内で作業員が倒れた場合に備 え、すぐ救出できるよう救助用の 担架を設置した。





①㈱杉本建設 ②福山 真也



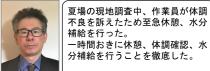
設計では道路対面にある地下埋設 物にアンカーは干渉しないとされ ていたが、埋設物調査の結果干渉 アンカーの径を太くし長さを短く

変更することで対応した。

15 令和7年度 有明海沿岸国道管内 CCTV設備設置工事 R7.8.2~ R8.2.2



①福岡芝浦電子㈱ ②星原 真也



熊本208号 大島地区構造物外 1 工事 R7.4.1 ~ R8.3.18



①(株)中川組 ②前崎 優希

(その3)工事



製品高4mのボックスカルバート製品 上部の吊り金具を外す際の安全確保 が重要と感じた。

ボックス上部からの転倒防止のため

単管足場に手すりを設け、危険箇所 の周知徹底をした。

熊本208号 大島地区函渠付替

R7.4.1 ~ R8.1.30 現場状況写真

構造物撤去工施工中 ②平山 孝広 ①㈱池田建設

11 福岡208号 四山地区改良



事前情報は「埋設物なし」だった が現地にはマンホールが確認された。 地域への情報収集、探査機や試掘 調査を実施したところ埋設物が確 認された。情報収集や現地確認が 大事だと思った。



①㈱昭和組 ②三笠 拓也

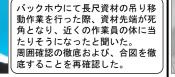


下部工の躯体天端のコンクリート 養生の撤去中に、足元が見えづら く足場と躯体の隙間に落下しかけ 隙間を無くすためブラケットを取

り付けて足場板を設置した。

令和7年度 有明海沿岸国道管内 みやま地区外舗装修繕工事





熊本208号 大島高架橋下部工 2 (P7)外工事 R7.1.18 ~ R8.2.27 現場状況写真



①㈱杉本建設 ②廣田 一誠



作業員さんから、別の現場で炎天 下の作業中立ちくらみで倒れかけ たと聞いた。 熱中症対策ウォッチの使用、休憩

用テントとスポットクーラーの設 置を行い、熱中症対策に努めた。



熊本208号 大島地区函渠付替

①興亜建設工業㈱ ②古賀 海輝



12

埋設物の事前確認では、地中80cm に埋設物が確認されていたが、試 掘を行うと50cmに埋設物が確認さ 試掘の重要性を再認識した。



福岡208号 三池港IC南橋下部工 (A2)外工事 R6.11.12 ~ R8.1.30



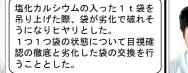
①㈱瀬口組 ②坂井 真幸



足場組立時、上段から下段に資材 の受け渡し中、連携が上手くいか ず、下段の作業員に資材が接触し そうになった。 声掛け等の合図を再度確認した。

17 令和7·8年度 有明海沿岸国道管内 道路維持修繕工事 R7.4.1~ R9.3.31





3 (P14-P17)工事 R7.2.1~R9.3.19 現場状況写真

熊本208号大島高架橋上部工



①三井住友建設鉄構エンジニアリング㈱ ②幡井 嶺



横桁を吊り上げる作業の際、転倒 防止の工具を外し忘れ、架台のH 鋼も一緒に吊上がり、玉掛者と接 触しそうになった。 3色の介錯ロープを使うなど、3・

3・3運動を徹底した。

8 熊本208号大島高架橋オフランフ 上部工工事 R6.10.1 ~ R8.1.31



①オリエンタル白石㈱ ②舩原 祐樹



取付ボルトの締め込み不良が原因 で型枠が損壊する事例を聞いた。 ボルトの締め込み長を事前に計測 しテープによるマーキングを施すことで、 視確認を可能にし、締め込み不足 を防止した。





①井樋建設㈱ ②鬼木 寿朗



18

立ち位置で作業するよう再度指導 を徹底した。

トラックから敷鉄板を荷下しして いた際、吊荷とトラックの荷台に 挟まれそうになった。 吊荷が振れても挟まれないような

佐賀208号 川副地区改良

19 佐賀208号 川副地区改良 (その2)工事 R7.4.1 ~ R7.12.19

り切断の危険があった。

の確認の大事さを感じた。

②津村 太輔



様に周知を徹底した。

(その6)工事 R7.9.13~R8.2.27

盛土の法肩付近を転圧作業時、法



肩が少し崩壊しタイヤローラーが 落ちそうになった。 法肩付近を転圧する際は縦断方向 に転圧せずに横断方向に転圧する

現場状況写真。

盛土工施工中 ②園田 弘樹 ①西村・中島JV

油圧ショベルの運転台へ昇り降り



する際、手足元が滑り転落しそう になった別現場の事例を聞いた。 当現場では昇降部の手足元箇所に 蛍光テープを貼り、三点支持で昇 降するように徹底した。



盛土施工中

①牟田建設(株) ②本告 栄



埋設管の試掘調査で管理者からは 深さ1.2mと聞いていたが、実際は 6mの深さであった。 事前確認したことでの思い込みの 危険性を認識し、探査機での確認 を徹底した。



①牟田建設(株) ②長 友太



ダンプトラックの荷台が架空線に 接触しかけたと聞いた。 荷台の降下確認、架空線の表示を 行うと共に作業前運転手への周知 が大事だと感じた。



佐賀208号 川副地区改良

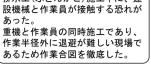
(その5)工事

①岡本建設(株) ②山下 雅史



排水工(ふとんかご)施工中に、建 設機械と作業員が接触する恐れが あった。 重機と作業員の同時施工であり、 作業半径外に退避が難しい現場で

R7.8.5 ~ R8.2.27





佐賀208号 川副IC橋下部工

①(株)峰組 ②山上 慶彦

(A1)工事



23

足場上での作業中、不意に同僚に 呼ばれ安全帯を外し忘れて移動し 転倒しかけた。 行動を切り替える際は一呼吸おく 余裕が安全には必須だと実感。 これを考慮した工程管理を行った

R7.1.18 ~ R7.11.26



佐賀208号 川副IC橋上部工工事

①名村造船所 ②末吉 魁人



工場製作時、上方吊り式アームか ら溶材が落下したが、幸い直下に 人はいなかった。 落下防止ピンの付け忘れが原因の ため、ピンを見やすく改善し、作 業前の確認を徹底するようにした。

令和7年度 有明海沿岸国道事務所安全協議会 安全大会を開催(令和7年10月21日)

有明海沿岸国道事務所安全協議会(会長:有明海沿岸国道事務所長)では、受注者および作業員の皆様の安全を確保し事故につながる要因を未然に防止する ため、管内の安全促進を図るなど労働災害防止に努めています。

本年度も、労働災害の防止ならびに安全対策の更なる強化の為、安全大会を開催いたしました。当日は、佐賀労働基準監督署より建設業の災害防止対策につ いて、また柳川警察署より建設工事における不当要求等に関する対応・対策についてご講話をいただきました。さらに、受注者を代表して㈱中野建設より、現 在施工中の佐賀208号 川副IC橋下部工(A2)工事における安全対策の取組事例について、発注者より九州地方整備局の工事事故の現状と建設現場における事故防 止の取り組みについてご紹介いたしました。最後に、有明海沿岸道路安全連絡協議会の代表より『安全宣言』が行われ、安全への決意を新たにしました。

今回の安全大会には、工事関係者等102名にご参加いただきました。ご紹介いただいた事例や対策について各社で共有し、安全への意識をさらに高めなが ら、安心・安全な工事の推進に努めてまいります。

令和7年度 有明海沿岸国道事務所安全協議会 安全大会

有明海沿岸国道事務所 令和7年10月21日



次 第

- 1. 開会挨拶
- 2. 建設業の災害防止対策

佐賀労働局 佐賀労働基準監督署

3. 建設工事における不当要求当に関する対応・対策

福岡県警察 柳川警察署

- 4. 佐賀208号 川副IC橋下部工(A2)工事における安全対策の取り組み事例 (株)中野建設
- 5. 九州地方整備局の工事事故の現状 ~建設現場における事故防止の取り組み~ 有明海沿岸国道事務所
- 6. 安全宣言

一般国道208号有明海沿岸道路安全連絡協議会

7. 閉会挨拶

安全宣言(抜粋)

- 1, 受発注間及び元請・協力会社間の日頃からのコミニュケーションの充実を 図ります。
- 2,作業員及び元請技術者(現場代理人等)が作業手順の確認を徹底したうえで の作業を実施します。
- 3, 現場従事者全員が一丸となり安全に対する強い自覚と責任感を持つように 指導します。
- 4, 有明海沿岸道路でつながる3県が連携して安全管理活動の情報を共有し、 さらなる安全意識の向上を図り、安全管理活動に邁進してまいります。

私たち受注者一同は、本大会を契機に新たな決意のもと、安全に対する意識 を高め、一丸となって安全活動に取り組み、『無事故・無災害』を目指すこと をここに宣言します。

令和7年10月21日



-般国道208号 有明海沿岸道路安全連絡協議会 南部地区会長株式会社池田建設 池田裕太 北部地区会長株式会社中島工務店 園田弘樹

▲宣言書







▲㈱中野建設による取組事例の紹介



【安全大会参加者】·工事受注者

37名 • 業務受注者

42名

16名 7名 • 有国事務所

自治体職員

• 安全大会に参加した受注者の声

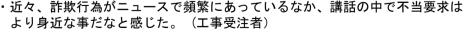
■ 佐賀労働基準監督署の講話

- ・安全に対する視点で、いちばん参考になった。(工事受注者)
- ・労働災害の発生状況を確認でき、安全意識の向上ができた。(業務受注者) ・建設労働災害防止のポイントや特に留意すべき点を把握できた。(業務受注者)

■ ㈱中野建設による取組事例の紹介

- ・他社の安全管理の工夫等を見れて参考になった。(工事受注者)
- ・同じ受注者として、他社が行っている取組に興味・関心がわいた。(工事受注者)
- ・最新の熱中症対策事例が参考になった。(業務受注者)

■ 柳川警察署の講話



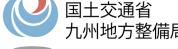
・いまだに不当な要求をされる事があるとは知らなかった。現状や対応を知る ことができてよかった。(業務受注者)

■ 九州地方整備局の工事事故の現状(発注者)



- ・事故事例の種類が多く、現場の安全訓練や災害防止協議会の資料として幅広く活用 できる。(工事受注者)
- ・工事事故の現状が把握でき、関係者全員に共有し事故防止に努められる。(工事受注者)
- コンサルタントとして配慮すべき安全対策の参考になった。

働き方改革、現場との積算・歩掛の乖離、資材の高騰、納期の遅れ等に関するご相談は、一括して技術副所長がお受けします。



有明海沿岸国道事務所

ホームページやX(旧Twitter)にて、規制情報や その他様々なコンテンツを公開しています。



ホームページ



X (旧Twitter)

https://www.qsr.mlit.go.jp/arien/

相談窓口 : 技術副所長 髙田英二〔0944-74-2930(代表)〕